

いいんだよ、かみの毛
みじかい女の子

小二

わたしは、この前、かみの毛をみじかくしました。今までずっとかみの毛が長かったので、心の中で、「こんなにみじかくしてもいいのかな。」と思いました。けれど、

「これでいい。」

とびようさんに言いました。

家へ帰り、かがみを見て、
「へんかなあ。やっぱり、か

みの毛を切りすぎた。」と思いました。前がみも切ってもらいましたが、ちっともかわいいとは思いませんでした。「しっぱいした。男の子みたい。」楽しみにしていたのに、ざんねんな気もちになりました。

朝になると、お母さんが、学校に行くときのかみがたを三つあみにし、かわいくしてくれました。かがみを見てみると、みじかいかみの毛でも、自分がかわいいと思いました。学校へ行ったら、友だちが、
「かみの毛切ったの。かわい

いね。」

と言ってくれました。わたしは、ほっとしました。みじかくてもいいんだと、あんしんしました。

わたしは、「女の子は、かみの毛がみじかいとへん。」と今まで思っていました。けれど、学校で、「自分らしく生きることに」「本当の自分をつたえていいこと」「まわりの人の自分らしさも大切にすること」をべん強して、男の子だから、女の子だからといって、かみがたやもちものがきまるわけじ

やないと分かりました。わたしのかみがたも、長くてもみじかくてもいい。わたしがすきにきめていいと分かりました。

学校には、かみの毛をむすんでいる男の子もいるし、わたしよりかみの毛がみじかい女の子もいます。後ろから見たら、男の子か女の子かわからない人もいます。かみをそめたり、パーマをかけたり、かわいいあみこみをしたり、かみがたつていろいろあつて、その人らしさがあつて、どん

なかみがたもすてきだなと思
います。

「いいんだよ、かみの毛みじ
かい女の子。」

今のわたしに言っ
てあげま
した。